

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド 2021年度第4四半期 決算報告および事業概況

2022年2月3日 Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は、2021年度第4四半期の決算を発表しました。社長兼CEOアナ・マニングは次のように述べています。

「2021年度第4四半期は、新型コロナウイルス感染症に関連した死亡保障ビジネスの保険金請求により、大きな影響を受けました。しかし、感染症の影響を除いた当社の業績は堅調であり、事業セグメントの多くが好業績を収めました。既存事業の成長に加えて、既契約ブロックにおいても新規案件が継続的に増加しております。

第4四半期には、1億600万ドルの資本を投下した既契約の取引を実行し、5000万ドルにおよぶ自社普通株式の買戻しを行いました。当社は強固な財務基盤を維持し、余剰の資本は四半期末時点で約13億ドルに上ります」

取締役会は、四半期配当金0.73ドルを2月15日時点で株主名簿に記載のある株主に対し3月1日に支払うことを発表しました。

2021年度 第4四半期 決算報告*

- 純利益は1億5600万ドル（前年同期1億3200万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は2.30ドル（前年同期1.94ドル）になりました。
- 調整済営業損失**は、3800万ドル（前年同期調整済営業利益8100万ドル）、希薄化後一株当たり営業損失は0.56ドル（前年同期一株当たり営業利益1.19ドル）になりました。
- 連結ベースの保険料収入（正味）は、為替の悪影響300万ドルを受け、前年同期から4.5%増加し、34億ドルになりました。
- その他の包括利益累計額を含む一株当たり簿価は193.75ドル、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価**は139.53ドルになりました。

2021年度 通期決算報告要点*

- 通期ベースの純利益は6億1700万ドル（前年度4億1500万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は9.04ドル（前年度6.31ドル）になりました。
- 通期ベースの調整済営業利益**は、7700万ドル（前年度4億9600万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は1.13ドル（前年度7.54ドル）になりました。

*数値はすべて米ドル表示

** GAAP 会計基準に準拠しない財務指標については注記をご参照ください

2021年度 第4四半期に関する主なメッセージ

- 希薄化後一株当たり調整済営業損失0.56ドル**には、新型コロナウイルス感染症の影響額一株当たり3.95ドル***が含まれます。
- 移動12ヵ月調整済営業利益率0.8%**には新型コロナウイルス感染症の影響10.1%***が反映されています。
- その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価は2021年に5%増加し139.53ドルになりました。
- すべての事業地域でグローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は堅調な実績を上げ、同部門最高の収益を記録しました。
- 既存事業の伸びが好調で、近年の成長傾向を維持しています。
- 資産運用実績は全般に良好で、わずかな減損になりました。
- 2021年度第4四半期には、1億600万ドルにおよぶ既契約取引を実行し、通期ベースでは過去最高となる合計5億4300万ドルの資本を保有契約ブロックの取引に配備しました。
- 2021年度第4四半期には5000万ドルの自社株式の買戻しを行い、通期ベースでは9600万ドルにおよぶ自社株買い戻しプランを実行しています。
- 余剰の資本13億ドルを備えています。

** GAAP 会計基準に準拠しない財務指標については注記をご参照ください

*** 新型コロナウイルス感染症に関連した死亡・罹患による保険金請求を長寿の影響で相殺した推定値

2021年度 第4四半期における事業の概況

- RGA は、生命保険、退職年金、資産管理を提供する世界有数の金融サービス会社であるエーゴンと長寿リスクを対象にした再保険を締結したことを発表しました。この取引により、RGA は、同社のオランダの事業における準備金約70億ポンドに相当する保有契約ブロックを受再します。
- RGA は、アジア・インシュアランス・レビュー誌が主催する年間表彰制度、第25回アジア・インシュアランス・インダストリー・アワードにおいて、テクノロジーをカスタマーサービス、マーケティング、事業開発と融合した活用など、生命再保険分野での幅広い活動、そして元受保険会社の信頼できるパートナーとしての商品開発やサービス強化に対する支援を高く評価され、「Life Reinsurer of the Year（生命再保険会社年間最優秀賞）」を受賞しました。

- RGA は、取締役会における男女比の平等の推進を評価され、第 6 回ブラックファースト・オブ・コーポレート・チャンピオン (BCC) で前年に続きウィメンズフォーラム・オブ・ニューヨークを受賞しました。同表彰制度は、S&P 500 やフォーチュン 1000 にランキングした企業を対象に女性の取締役比率 35%以上を基準に隔年で実施されています。
- RGA は、ジョージ・ニコラス・ザ・サード (George Nichols III) を取締役を選任したことを発表しました。ニコラスは現在、米国の私立大学アメリカン・カレッジ・オブ・ファイナンシャル・サービスの社長兼最高経営責任者を務めています。現職に就任する以前は、営業、戦略事業、公的政策等の部門を担当しニューヨークライフに 17 年間勤めていました。

各事業子会社について、以下の表に示す通り、第 4 四半期における財務力格付の変更はありません。

	RGA Reinsurance Company (主要事業子会社)	RGA Americas Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置く事業子会社)	RGA Life Reinsurance Company of Canada (カナダの事業子会社)	RGA International Reinsurance Company dac (アイルランドに拠点を置く事業子会社)	RGA Global Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置く事業子会社)	RGA Reinsurance Company of Australia Limited (オーストラリアの事業子会社)	RGA Atlantic Reinsurance Company, Ltd. (バルバドスに拠点を置く事業子会社)	Omnilife Insurance Company Limited (英国に拠点を置く事業子会社)	RGA Reinsurance Company (Barbados) Ltd. (バルバドスに拠点を置く事業子会社)
S&P 保険財務力格付	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	(格付なし)	A+	AA-
AM ベスト	A+	A+	A+	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	A+	(格付なし)	(格付なし)
ムーディーズ	A1	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)

当社の 2021 年度第 4 四半期決算報告の詳細内容は、当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations をご参照ください。

RGA の概要

2021 年末時点で再保険引受保有額約 3 兆 5000 億ドル、総資産 922 億ドルを有し、RGA は、米国大手企業『フォーチュン 500』にランキングする世界有数の生命再保険会社です。1973 年の設立以来、リスク管理、資本管理、革新的なソリューションにおける高度な専門性、および優れた顧客対応において、高い評価を得ています。RGA は米国ミズーリ州セントルイスに本拠地を置き、世界各国で事業を行っています。個人生命再保険、第 3 分野再保険、団体生命再保険、任意再保険、財務ソリューション、および商品開発の分野で世界中のお客様をサポートしています。

当社および当社の事業の詳細内容は、当社ホームページ (www.rgare.com) をご参照ください。

注記事項

GAAP 会計基準に準拠しない財務指標について

当社は、調整済営業利益という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を業績結果の分析に用います。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価も同指標に基づきます。調整済営業利益（税引前および税引後）は、キャピタル（ゲイン）ロス、および組込デリバティブの公正価値変動や関連する繰延新契約費の影響を受けないため、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。信用市場や金利環境を受けて、前述のキャピタル（ゲイン）ロス等は変動し得るものの、必ずしも当事業の業績を反映しないことがその理由です。また、調整済営業利益には、当社の現行事業を反映しない非継続事業の純利益（損）、および会計基準変更に伴う累積的影響は含まれません。調整済営業利益の定義は各社により異なり、GAAP 会計の純利益の代用とはみなされません。

当社は、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を用いますが、投資や為替換算の時価評価調整に主に伴う未実現損益の効果を消去し、貸借対照表の評価を行う上で重要と認識しています。

希薄化後一株当たり調整済営業利益は GAAP 会計基準に準拠しない財務指標であり、調整済営業利益を希薄化後発行済株式数加重平均で除して算定されます。調整済営業利益と同様に、同指標は、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価にも用いられます。

GAAP 会計の純利益、一株当たり簿価、希薄化後一株当たり利益への調整については、下表をご参照ください。当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations ページには、四半期報告書および「Quarterly Financial Supplement」に付加的な財務情報が掲載されています。

2021 年第 4 四半期（10 月 1 日～12 月 31 日） 純利益から調整済営業利益への調整（連結ベース）

（数値は未監査）

単位：\$100万（一株当たり数値を除く）

	2021年第4四半期		2020年第4四半期	
	希薄化後 一株当たり 利益	希薄化後 一株当たり 利益	希薄化後 一株当たり 利益	希薄化後 一株当たり 利益
GAAP 純利益（損失）	\$ 156	\$ 2.30	\$ 132	\$ 1.94
キャピタル（ゲイン）ロス、デリバティブ他（正味） （資産運用関連収益・損失に含まれる）	(24)	(0.36)	9	0.12
キャピタル（ゲイン）ロス、留保資産 （資産運用収益に含まれる）	(1)	(0.01)	8	0.12
組込デリバティブ：				
資産運用関連（収益）損失（正味）に含まれる	(39)	(0.57)	(86)	(1.26)
投資利息に含まれる	(8)	(0.12)	(4)	(0.06)
繰延新契約費（正味）	21	0.31	17	0.25
ユニットリンク型変額年金投資収益	(4)	(0.06)	(11)	(0.16)
ユニットリンク型変額年金投資利息	4	0.06	11	0.16
未確定な税金債務の支払利息	(27)	(0.40)	2	0.03
投資性のない為替デリバティブ	4	0.06	(1)	(0.01)
未確定な税金債務とその他税関連	(120)	(1.77)	4	0.06
調整済営業利益（損失）	\$ (38)	\$ (0.56)	\$ 81	\$ 1.19

一株当たり簿価（「その他の包括利益累計額を含む」から「その他の包括利益累計額を除く」への調整）

（数値は未監査）

12月末時点

	2021年	2020年
一株当たり簿価（その他の包括利益累計額を含む）	\$193.75	\$211.19
	(0.13)	(1.02)
為替換算調整累計額	55.09	80.94
有価証券未実現益（損）	(0.74)	(1.06)
退職年金・給付	\$139.53	\$132.33
一株当たり簿価（その他の包括利益累計額を除く）		